

## 令和7年度 全国スポーツ推進委員功労者表彰

江戸川区スポーツ推進委員会 副会長 吉村 隆二

令和7年11月13日、「第66回全国スポーツ推進委員研究協議会長野大会」に出席しました。全国からの参加者で3千名を超えるスポーツ推進委員が集まっていた。

そこで、開会式の中で表彰式が行われ、江戸川区の多くの方々のおかげさまで「令和7年度 全国スポーツ推進委員功労者表彰」をいただきました。

これからも人と人との「かかわり・つながり・絆」を大事にしながら、生きていきたいなと思います。本当にありがとうございました。



## 令和7年度 東京都スポーツ推進委員功労者10年表彰



小岩地区 葛西地区 小岩地区  
下口 真寿美 今井 美和 石井 良一

この度は、「令和7年度 東京都スポーツ推進委員功労者10年表彰」を賜り誠にありがとうございます。楽しく活動ができたのは多岐にわたり活動されている諸先輩や区職員の方々からのご指導と地域の方々や子どもたちの笑顔があったからこそと感謝申し上げます。

## 2025年度 ラジオ体操優良団体等表彰(府県等表彰)受賞

この度、江戸川区スポーツ推進委員会は「2025年度 ラジオ体操優良団体等表彰(府県等表彰)」を受賞しました。

私たちスポ推は、ラジオ体操指導者講習会において自己を研鑽し、町会自治会などのラジオ体操会や区民ラジオ体操大会などに参画しています。そうした取り組みを評価していただきましたことに感謝を申し上げます。

昭和31年から続く、由緒ある表彰です。(株)かんぼ生命保険・NHK・NPO法人全国ラジオ体操連盟の三者が、毎年、ラジオ体操の普及奨励に寄与した功績の著しい団体または個人を対象として、全国表彰、地方表彰、府県等表彰を行っています。

これからも区民の皆さんの健康増進に寄与するべく地域に根付いた活動を展開し、江戸川区とともにラジオ体操を積極的に推進してまいります。

(1級ラジオ体操指導士×スポーツ推進委員 望月 一宏)



### 編集後記

スポーツ推進委員が一年間で一番活動が多いのが、秋冬です。地域ごとのスポーツ講座や区民まつりなどのお祭りもありますが、ポッチャ大会やカヌースラローム大会のように新たなスポーツが根付いてきていることを感じています。江戸川区の皆さんにスポーツが広がっていることを実感できることは、私たちスポーツ推進委員の励みとなります。

(広報部 佐藤 美緒)



江戸川区スポーツ推進委員会は、誰もが安心して自分らしく暮らせる共生社会の実現に向けSDGsに積極的に取り組んでいます。

# みんなのスポーツ Sports Vol. 116

第116号 令和8年1月22日 編集：江戸川区スポーツ推進委員会 発行：江戸川区 江戸川区中央1-4-1 ☎03(5662)1636



会長あいさつ

「あけましておめでとうございます」

江戸川区スポーツ推進委員会  
会長 平野 秀夫

昨年の秋、東京で二つの大きな国際大会が開催されました。一つは世界陸上で、そしてもう一つが初めて日本で開催された東京デフリンピックです。皆さんご覧になりましたか。バレーボールが行われた駒沢体育館をはじめ多くの会場に、入りきれないほどの観客が集まりました。地上波での放送は少なかったですが、インターネットで多くの試合を見ることができました。日本は大会前の予想を大きく上回り、16個の金メダルを含め51個のメダルを獲得しました。江戸川区出身の長谷山優美選手が出場した女子バレーボールは見事金メダルを獲得しました。そして女子サッカーでも久住呂文華選手、國島佳純選手が銀メダルを獲得しました。おめでとうございます。

私も観戦に行きましたがあちこちで手話で会話する姿を見かけました。私が観戦に行った日は駒沢オリンピック公園の中央広場で「スポーツ FUN PARK」が開催され、アスリートのトークイベントやデフスポーツ・パラスポーツの体験などを楽しむことができました。この大会が私を含め多くの方にとって「ろう社会」「ろう文化」理解への一歩になったと思います。デフリンピックの開催に伴いイベント、講演会等

ろう者の方々とお会いし、多くのことを学ぶ機会となりました。私たちにとって共生社会の重要性を体感する機会となったと思います。この大会をきっかけに、これからもデフスポーツ、デフ選手を応援していきましょう。

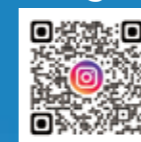
また昨年12月6日には「第4回区長杯ポッチャ交流大会」が開催され、今までで一番多い80チームが出場しました。初心者チームからベテランのチームまで様々なチームが参加し、和気あいあいと皆さんゲームを楽しんでいらっやいました。

ポッチャはユニバーサルスポーツとして子供からお年寄りまで、障害のある方ない方全ての人と一緒に楽しめるスポーツです。ルールも簡単でとても始めやすいスポーツです。カーリングに似たルールで、緻密な戦略を練ったり奥深さもありますが、一方初心者の方でもミラクルショットが出て一発逆転なんて試合もありました。

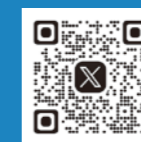
私たちスポーツ推進委員会ではパラスポーツの認知度の向上と普及に努めてきました。その中で誰でも簡単に楽しめる、体験できるポッチャの普及に力を入れています。現在、スポーツ推進委員会では各地区で「ポッチャ講座」を開催したり、地区委員会の行事としてポッチャ大会を行ったり、小中学校や地域からお声が掛ければ体験会を随時開催しています。また毎年2月には「ポッチャフェスティバル」を開催しています。今まで一度もポッチャに触れたことのない方でも参加できる会となっています。今年は2月15日に江戸川区総合体育館で開催します。ご興味を持たれた方、ぜひ遊びに来てください。

## 江戸川区スポーツ推進委員会

Instagram



X



Webサイト



江戸川区スポーツ推進委員会の活動の様子をお知らせしています。

## 令和7年度 東京都スポーツ推進委員 広域地区別研修会(第5ブロック)

令和7年8月30日(土) すみだリバーサイドホール

毎年行っている第5ブロック(江東区・足立区・墨田区・葛飾区・江戸川区)合同研修会。今年度の主管は墨田区ということで、「すみだリバーサイドホール」にて、墨田区縁のアスリートを招いてのものとなりました。

講演会後の第二部は、スポーツ推進委員同士の情報交換会。それぞれの地区で創意工夫を施した活動内容を報告し合い、アイデアの共有を図ることができました。(広報部 熊田 和則)



松沼 博久氏

(元西武ライオンズ投手)

幼少時から少年野球に親しみ、黄金期の西武ライオンズを支える投手として、第一線で活躍されました。人生において野球との出会いがすべてであったと言い切る氏は、「子供たちにも夢をもっているいろいろなことに取り組んでほしい。それがスポーツでなくても、生涯打ち込めるものをもてる人生は幸せだ。」とお話をされていました。



武井 隆次氏

(元早稲田大学陸上部箱根駅伝選手)

早稲田大学の陸上部員として箱根駅伝に4回連続出場を果たした氏は、その後オリンピック候補者として数多くのレースに出場されました。残念ながらオリンピック出場の夢はかないませんでした。「長く陸上競技の世界で生きてきたことが人生を豊かなものにしてくれた。」とお話をされていました。

## 第46回 江戸川マラソン大会

令和7年10月26日(日) スピアーズえとりくフィールド(江戸川区陸上競技場)



朝から雨が降ったり、止んだりのあいにくの天候のもと、第46回江戸川マラソン大会が行われました。開会式直後の親子の部(1km)を皮切りに、10km、1km、3km、5kmの順にレースが進み、大きな事故やけがなどなく無事大会を終えることができました。私たちスポーツ推進委員は場内整理をはじめ、手荷物預かりや記念品配付など様々な役割を担い、大会が円滑に進行するよう運営にあたりました。冷たい雨に打たれながらも懸命に走る姿に沿道やスタンドから温かい拍手と声援が送られ、日頃の練習の成果を出し切って次々とゴールした選手のみなさんの表情は実に晴々としていました。(広報部 浅野 努)

## ウォーキングフェスタえとがわ2025

令和7年11月23日(日・勤劳感謝の日) 下小岩小学校 主催:江戸川区ウォーキング協会

曇り時々晴れの穏やかな天候のもと、小岩地区を中心に区内各地から約1,000名の参加者が集まりました。下小岩小学校を出発し、新中川河川敷の3km、6kmコースを思い思いのペースで歩き、健康づくりに汗を流しました。ストレッチや青空ヨガ、物産展に加え、キッチンカーも好評で、笑顔あふれる一日となりました。

(広報部 ト部 洋)



## 第5回 江戸川区長杯カヌー・スラローム大会

令和7年11月30日(日) 新左近川親水公園カヌー場(スラローム場)

新左近川親水公園カヌー・スラローム場では、総勢59名の選手が18個のゲートを通るタイムを競いました。参加選手は9歳から74歳まで幅広く、親子での参加もあり、カヌーはレクリエーションとして誰でも楽しめるスポーツだと実感しました。江戸川区はカヌーを楽しむ環境が整っていて、江戸川区カヌー協会には5つのカヌークラブが所属しています。まずは初心者でも体験できる「新左近川親水公園多目的カヌー場」で、カヌーに触れてみてはいかがでしょうか。

(広報部 鈴木 敬)

新左近川親水公園カヌー場管理棟(電話番号:03-5605-1137)



## 第4回 江戸川区長杯ボッチャ交流大会

令和7年12月6日(土) 江戸川区総合体育館



第4回区長杯ボッチャ交流大会が、12月6日土曜日に江戸川区総合体育館で開催されました。5歳から93歳までの幅広い年齢の方々が3人一組となり、合計80チーム、257名の参加者が、日頃の練習の成果を発揮するべく、熱い戦いを繰り広げました。ボッチャは障害のある方もない方も、お子さんもお年配の方も楽しめるスポーツです。チーム同士互いの健闘を称え、大きな拍手が送られ、素敵な笑顔と拍手で、会場が温かい雰囲気となりました。

(広報部 小林 麻子)

## 地域スポーツ講座「ドッチビー」(鹿骨地区)

鹿骨地区では、地区でのドッチビー大会を行うために、すすくすくスクールや学校に協力をいただき、今年度は4ヶ所でドッチビー講座を開催しております。

昨年12月に行う大会に向けて、毎回20名程の参加ですが、一緒に参加している保護者の方にも協力いただき、ルールを覚えてもらいながら、楽しく行っています。

1月以降には、ボッチャの講座も予定していますが、こちらも多くの方々に参加いただけるように声をかけていきたいと思っています。(鹿骨地区 部長 肥田 初枝)

